NY、ホーチミン、カイロ、バンコク……
どんなときにも、どんな場所でも、笑顔が僕に元気をくれた。
ロンドン、ブエノスアイレス、ケープタウン、愛知……
笑顔をいっぱい集めたら、世界はぜったいMERRYになる。

始まりは1999年、突然のバスの中で偶然出会った子どもたち。
彼女たちの純真な笑顔にとてつもない衝撃を受けた。そして、未来を感じた。
「笑顔」こそ新しい時代を動かすエネルギーだと気づいた水谷さんは、
ビジュアルブック『Merry』を出版。
翌年には、原宿に集まる個性的な女の子たちの笑顔を展示した『Merry』展を開催した。
来場者3万人を超える大きな反響を呼んだ『Merry』は
ロンドンをはじめ世界へと発信されていく。
笑顔のパワーを信じて活動を続けるみなさんの「メリープロジェクト」は
震災後の神戸や9・11後のNYの人々に勇気が希望を与えた。
「笑顔」が社会に貢献できると確信した水谷さんは新たに
「街を『Merry』にする」プロジェクト『Merry Merry Merry』を提唱。
「街を『Merry』にするためには、まず自分たちの笑顔を見直そう」と
日本各都市はもちろん、世界数十数箇所で実施された。
そして今「新しい時代をハッピーにする仕人々の笑顔だ」という思いのもと
メリープロジェクトは全知万種に挑戦している。
世界23ヶ国で撮影した笑顔メッセージを大型ビジョンで放映、
笑顔、笑顔、笑顔、見ていると思わずにっこり微笑んでしまう。
笑顔がどんどん広がって、世界中が笑顔で埋まったら
そう、世界は絶対ハッピーになる！

楽しいから笑う。笑うから楽しい。

Merry

INFORMATION

全一味違う新コンセプトの小型の円形ボードに、万博会場にて
Merryの撮影を実施中。また、これまでに「みつけた！」の数の笑顔は、ウェブサイ
ンとしてHPで発信されています。写真やテキストはもちろん、参加者にちなんだ人々
のキャッチコピーが添えられ、ボードの下の方にはQRコードが表記されます。
カジュ、Merry Projectのウェブサイトhttp://www.21merry.com/にて公開中です。

あなたにとってMERRY（しあわせ）とは何ですか？

写真／水谷孝次　文／白倉三紀子

ヴェネチア、モスクワ、キューバ、ケニア……
いろんな国の街角へ、笑顔をさがしに旅に出た。
ベルリン、ナイロビ、上海、トンガ……
行く先々の笑顔の人に、笑顔の理由を訊いてみた。

空港の到着ゲートが開く、
見慣れない文字の看板、肌に刺さまない空気、
聞き取れないアナウンス、押し寄せる客引き、
「憧れのあの国」が現実のものとして目の前に広がる瞬間。
高揚感と同時にこみあげる不安、どこかない緊張で胸をかかげつくる。
ふと目が合った地元のひとが優しい眼差しで微笑んでくれる。
大きな彼の子供たちが無邪気な笑顔でかけ寄ってくる。
ちょっと戸惑いながらもニコリと笑顔を返してみると
心が通い合ったような気があしたかい安堵感が広がる。
人の心を一瞬にして明るくしてくれる笑顔は、
言葉も国境も越えた世界共通のコミュニケーション・ツールだ。
笑顔が持つそんな大きなパワーに突き動かされた
アートディレクター・水谷孝次さん、彼の志望する「メリープロジェクト」は
人々の笑顔とメッセージを通して
世界に「Merry」でしあわせの輪を広げていこうというライフワーク。
笑顔の写真とメッセージを、ポスター、映像インスタレーション、
フリーペーパーなど様々な形で発表している。

PROFILE

水谷孝次（MIZTAKI）
1963年、京都府生まれ。「フィルムとビデオのインスタレーション」を中心とした作品を作る傍らCM・ミュージックビデオ・ドキュメンタリー・長編映画などの監督・撮影・編集・音楽・企画・出版などのクリエイター活動を行う。既刊の出版物は『Merry』を含めて8冊。現在は、ある長期プロジェクトを通じてMerryの輪を広げる活動に従事している。